

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

- ◆「禿山の一夜」(写真 [PH-472] / 英国 / 撮影: クラウド・ハリス)
Photograph of "on the Bare Mountain" / England / photo by Harris, Claude / 14.7×19.6cm (PH-472)
- ◆「クラクワの伝説」の一場面 (写真 [PH-451] / フランス)
Photograph of a scene from "La Legende de Cracovie" / France / 22.5×17.1cm (PH-451)
- ◆「アポロと美女」を踊るオルガ・スラウスカ (写真 [PH-271] / フランス)
Photograph of Slavka, Olga in "Apollon et la Belle" / France / 23.6×17.1cm (PH-271)
- ◆「フロニスラワ・ニジンスカ」(写真 [PH-627] / 1930年代 / 英国 / 撮影: クラウド・ハリス)
Photograph of Nijinska, Bronislava / 1930s / England / photo by Harris, Claude / 20.2×14.5cm (PH-627)
- ◆「記憶」の一場面 (写真 [PH-494] / フランス)
Photograph of a scene from "La Rappel" / France / 24.0×18.0cm (PH-494)
- ◆「地の歌」の一場面 (写真 [PH-465] / フランス)
Photograph of a scene from "Le Chant de la Terre" / France / 16.3×23.5cm (PH-465)
- ◆「チューリング・バレエ」の一場面 (写真 [PH-438] / 英国 / 撮影: クラウド・ハリス)
Photograph of a scene from "Turing Ballet" / England / photo by Harris, Claude / 15.5×19.2cm (PH-438)
- ◆「日本のパントマイム」の一場面 (写真 [PH-435] / 英国 / 撮影: クラウド・ハリス)
Photograph of a scene from "Japanese Pantomime" / England / photo by Harris, Claude / 19.2×15.5cm (PH-435)
- ◆「ショパンのコンチェルト Eマイナー」の一場面 (写真 [PH-410] / フランス)
Photograph of a scene in "Chopin's Concert in E minor" / France / 17.1×23.1cm (PH-410)
- ◆「クラクワの伝説」の一場面 (写真 [PH-458])
Photograph of a scene from "La Legende de Cracovie" / 17.4×22.7cm (PH-458)
- ◆「聖なるエチュード」の一場面 (写真 [PH-477] / 英国 / 撮影: クラウド・ハリス)
A scene from "The Holly Etudes" / England / photo by Harris, Claude / 15.2×18.7cm (PH-477)
- ◆英国におけるポーリッシュ・バレエ団 (写真 [PH-503] / 1937年12月10日 / 英国)
Polish Ballet in England / 1937.12.10 / England / 15.3×21.6cm (PH-503)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム (プログラム [PR-BR-OF-01] / 1910年 / バリ・オペラ座)
Official programme of Serge Diaghilev's Russian Ballet / 1910 / Theatre National de l'Opera, Paris / 32.0×24.7cm (PR-BR-OF-01)
- ◆バレエ・リュス公式プログラム (プログラム [PR-BR-OF-37] / 1921年 / アルハンブラ劇場, ロンドン)
Official programme of Ballets Russes / 1921 / Alhambra Theatre Leicester Square / London / 31.1×24.4cm (PR-BR-OF-37)
- ◆バレエ・リュス ハウスプログラム (プログラム [PR-BR-HP-38] / フランス)
House programme of Ballets Russes / France / 30.3×23.2cm (PR-BR-HP-38)
- ◆「時を駆けるダンス」 公式プログラム (プログラム [PR-132-OF] / 1925年12月3日 / フランス)
Official programme of "LaDanse a Travers Les Ages" / 1925.12.3 / France / 27.5×21.0cm (PR-OF-132)
- ◆オペラ・リュス・ア・パリ公演で上演された「ペトルーシカ」についての記事 (スクラップ・ブック [SB-10-05] / 1929年)
Scrap Book of Kenji Usui, articles of "Petrushka" / 1929 / Opera Russe a Paris, Paris (SB-10-05)
- ◆「シャンゼリゼ劇場公演で上演された「ペトルーシカ」についての記事 (スクラップ・ブック [SB-10-22] / 1931年)
Scrap Book of Kenji Usui, articles of "Petrushka" / 1931 / Théâtre des Champs-Élysées, Paris (SB-10-22)
- ◆イダ・ルビンシュテイン ハウスプログラム (プログラム [PR-312-HP] / 1931年7月17日)
House programme of Ida Rubinstein, season of Dramas and Ballets / 1931.7.17 / 25.3×18.0cm (PR-HP-312)
- ◆ポーリッシュ・バレエの公式プログラムとチケット (プログラム [PR-520-OF] / 1937年12月16日)
Official programme of The Polish Ballet and ticket / 1937.12.16 / 25.4×18.1cm (PR-OF-520)
- ◆バレエ・リュス・ド・モンテカルロ ハウスプログラム 座席表 (プログラム [PR-BR-MC-HP-01] / 1932年1月17日 / モナコ・モンテカルロ劇場)
House programme of Ballets Russes de Monte Carlo / 1932.1.17 / Théâtre de Monte-Carlo, Monaco / 30.3×20.6cm (PR-BRMC-HP-01)
- ◆ポーリッシュ・バレエのプログラム (プログラム [PR-048] / 1937年12月16日)
Programme of The Polish Ballet / 1937.12.16 / 25.4×18.1cm (PR-048)
- ◆ニジンスカ直筆の手紙 (手紙 [AU-103] / 20世紀)
Letter of Nijinska, Bronislava / 20c / Russian / 26.9×21.0cm (AU-103)
- ◆バレエ・リュス・ド・モンテカルロ (W.ド・バジルのバレエ・リュス)公式プログラム (プログラム [PR-BR-MC-OF-23] / 1935年 / ニューヨーク)
Official programme of Ballets Russes de Monte-Carlo(Basil,Col.W.de's Ballets Russes / 1935 / New York / 31.2×24.5cm (PR-BRMC-OF-23)



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二 バレエ・コレクション
2014 企画展

ブロンスラワ・ニジンスカ
～ ニジンスキーを継ぎそして超えて～

2014/3/18 (Tue.)～2014/4/13 (Sun.)

天才ニジンスキーの陰にかくれてしまうのか、その妹ニジンスカは現在でもまだ研究書も少なく、十分に評価されているとは言えません。

バレエ・リュスにおいては唯一の女性振付家でもあり、その作品傾向は現在のニジンスキーを踏襲していますが、一方では独自のセンスで現在見てもちっとも古びることのない非常にモダンな感覚の持ち主でもありました。『牧神の午後』でのニジンスキーとのいわば共同振付作業にはニジンスカの振付のエッセンスが入っているとも言えるし、振付家としてのニジンスキーの後継者はニジンスカと言うこともできます。多くの作品に見られる角ばったような腕の動きや群舞のフォーメーションなどは特長的です。

バレエ・リュスではダンサーとして活躍した後、1920年代には振付家として再度活躍。主宰者セルジュ・ディアギレフが心血を注いだバレエ・リュス唯一の全幕作品『眠れる森の美女』の振付のために呼び戻したのは彼女に対するディアギレフの高い評価ゆえでした。

生涯で2度結婚し、1度目のアレクサンドル・コチエトフスキーとの間にレオとイリーナが誕生。イリーナはバレエ・ダンサーとなり、イダの一座やポーリッシュ・バレエにダンサーとして参加しました。ニコラス・シンガエフスキーと再婚し、彼はニジンスカのマネージャー的な役割を果たし続けたのです。この2度の結婚式にディアギレフは父親役として立ち会っています。

Kenji Usui Ballet Collection

Bronislava Nijinska

～ pursued and transcended Nijinsky's work ~

2014/3/18 (Tue.)～2014/4/13 (Sun.)

◎ 企画・監修

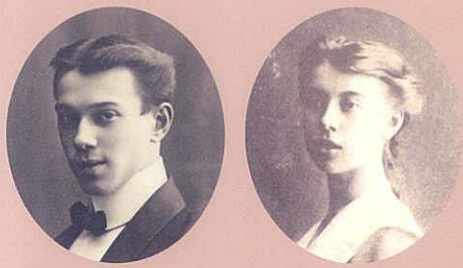
芳賀直子(はが・なおこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

水野慎子(みずの・のりこ) / 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター・アシスタント
Noriko Mizuno (Assistant Curator of Kenji Usui Ballet Collection)

兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二 バレエ・コレクション 担当

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 tel: 0798-68-0223 (代表) fax: 0798-68-0212

Hyogo Performing Arts Center



～兄ニジンスキーを追いかけて～

ニジンスカは常に兄の後を追いかけていたところがありました。バレエ学校でも、バレエ・リュスへの入団も兄の後を追いかける形でした。そして、ニジンスキーがロモラ・ド・ブルツキーとの結婚でバレエ団を追われると、ニジンスカもそれに続いて退団。その後、ニジンスキー一座に参加した後、第一次世界大戦中はロシアに残り、私立のペトログラード・オペラ・シアターで新作を発表するなど活動を続けた。その後、ディアギレフの呼びかけに応じる形で1921年にバレエ・リュスに復帰、英国のみで上演された『眠れる森の美女』全幕上演に振付家、ダンサーとして参加。1922年にはディアギレフの発案で『牧神の午後』（ニジンスキー振付、初演もニジンスキー）の『牧神』を女性として初演しています。以後1925年に退団するまで『狐』『レ・ファッシュ』『青列車』『結婚』を振り付けました。

1925年の退団は抽家バレエを巡るディアギレフとの意見の食い違いによるものでした。しかし、決別したわけではなく、1926年には『ロメオとジュリエット』（コンスタント・ランバード作曲）の振付のために招かれています。

～バレエ・リュス時代～

バレエ・リュスには1909～1913年ダンサーとして、1921～1925年、1926年振付家、ダンサーとして参加。ダンサーとしては『カルナヴァル』『ペトルーシカ』等の初演ダンサーとして活躍。またニジンスキーの『牧神の午後』振付では共に作業を行い、『大きいニンフ』の初演はニジンスカを予定していた（妊娠のため実現しなかった）。バレエ・リュスで手掛けた作品は以下の通り。
『狐』（1922）、『結婚』（1923）、『牝鹿』（1924）、『うるさ方』（1924）、『青列車』（1924）、『ロメオとジュリエット』（1926）

略年譜

- 1891年1月8日 誕生（ニジンスキー、スタニスラフ二人の兄の妹として）
- 1900～1908年 ロシア帝室バレエ学校に学ぶ
- 1909～1911年 ロシア帝室バレエ団に入団
- 1909年 兄ワツラフと共に、バレエ・リュスに参加
- 1911年 アレクサンドル・コチエトフスキーと結婚（13' イリーナ、19' レオ誕生）
- 1913年 兄ワツラフの退団に伴い、バレエ・リュスを退団
- 1915年 初の振付作品『人形～あるいは喚びたばこ入れ～』をペトログラード・オペラ・シアターで初演
- 1916年 キエフ公立オペラ・シアターと契約を結び、キエフに移住
- 1921～1925年
母国ロシアを去り、バレエ・リュスに入団。バレエ・リュスでダンサー、振付家として活躍。フランスの振付家として小さなグループ公演の振付などを手掛ける。
- 1926～1927年 テアトロ・コロロンに振付家として参加
- 1926年 『ロメオとジュリエット』振付のためバレエ・リュスに招かれる
初の抽象バレエ作品『パッパのエチュード』をテアトロ・コロロンで初演
- 1927年 パリ・オペラ座に『ミュージック・ホール』の印象』を振付ける
- 1928～1931年
イダ・ルビンシュテインが結成したルビンシュテイン・バレエ団に芸術監督、首席振付家として参加
- 1929年 オルガ・スベシツェワのバレエ団、アンナ・ハプロフの一座に作品を振付ける
- 1930～1931年 オペラ・リュス・ア・パリに参加
- 1931年 ニジンスカ・バレエとしてシャンゼリゼ劇場での『オペラ・リュス・シーズン』に参加し新作上演
- 1931年 マックス・ラインハルトの『ホフマン物語』のバレエ・シーン振付
- 1932～1933年 バレエ・ニジンスカ テアトル・ド・ラ・ダンス結成
- 1934～1935年
ハリウッドに招かれてマックス・ラインハルト監督映画『真夏の夜の夢』のバレエ・シーン振付
- 1935年 バジル大佐のバレエ・リュスに『千の罅』を振付
- 1936～1938年 ポーランド・バレエ団創設され、初代芸術監督、首席振付家として招かれる
- 1937年 ポーランド・バレエ団、ニジンスカそれぞれにパリ万博にてグラン・プリ受賞
- 1939年 渡米し、バレエ・シアター（現ABT）に協力
- 1941年 ロサンゼルスにバレエ学校開校
- 1945年～ ケヴァス嬢のグラン・バレエ団 にバレエ・ミストレスとして参加
- 1960年 ケヴァス嬢のグラン・バレエ団で『眠れる森の美女』振り移し行う
- 1964年 英国ロイヤル・バレエ団に『牝鹿』再演のために振り移し行う
- 1966年 英国ロイヤル・バレエ団に『結婚』再演のために振り移し行う
- 1971年2月21日 カリフォルニア州で死去

～ザ・ポーリッシュ・バレエ～

THE POLISH BALLET

1937年に創設されたポーランドの国立バレエ団。ポーランド独自の作品を海外で公演することを主眼として創設されました。1937年初公演はパリ、モガドール劇場。ロンドンやポーランドなどを巡演。翌年、レオン・ヴォイジコフスキーが芸術監督を引き継ぎヨーロッパ、米国ツアーを行いました。1939年に第二次世界大戦開戦を受けて解散。1950年にポーランド・オペラ座バレエ学校が再び創設、バレエ団も創設され現在に至っています。

（1785年にも国立バレエ団が創設されましたが、1795年の第三次ポーランド分割の前年、政治の混乱の影響のもと1794年に解散を余議なくされています。）
バレエ団の歴史も国家同様、歴史に翻弄されていると言えます。

『結婚』の登場人物



『クラクワの伝説』の美術デザイン（T.ロスツコフスカ）



『クラクワの伝説』の衣装（T.ロスツコフスカ）



『コンチェルト』E.マイナーの舞台美術



『結婚』の美術デザイン（L.ロズンバウム）



『大地の歌』の舞台デザイン



『大地の歌』の舞台

～様々な活動～

ニジンスカは日本人にも馴染みの深い『ボレロ』の振付（1928年初演はミハイル・フォーキン振付、1931年にニジンスカ振付）や、映画のバレエ場面の振付も手掛けていることは案外知られていません。また教育者としても優れていたようで、バレエ・リュス最後のスターであったセルジュ・リファールやディアギレフもバヴロクと甲乙つけがたい才能と高く評価したオルガ・スベシツェワ、バレエ・リュス・ド・モンテカルロで活躍したタマラ・トウマノワやバランシンの3人目の妻となったマリア・タリチェフ（ニューヨーク・シティ・バレエ団でも活躍）らを育てています。



イリーナ・ニジンスカ（1913～1991）



アレクサンドル・コチエトフスキーとの間の長女。ダンサーとして活躍し、1930年にオルガ・スベシツェワの一座の公演でデビュー。その後、オペラ・リュス・ア・パリ、イダの一座、バジル大佐のバレエ・リュスやザ・ポーリッシュ・バレエなど母の関わる舞台に出演。バレエ学校の教師も務め、1968年、母の再婚相手シガエフスキーの死後は主に母ニジンスカのマネージャー的存在として、アシスタントとして活躍。

晩年1990年にイーゴル・ユスケヴィッチと共に『千の罅』を再現上演し、『ボレロ』『ショパン・コンチェルト』『ミュージックホールの想い出』の再演も実現していたが、実現しないまま死去したのは残念なことでした。